

徳島県新広域道路交通ビジョン（素案）の概要

令和3年2月定例会（付託）
県土整備委員会資料（その3）
県土整備部

徳島県が目指す将来像（「未知への挑戦」とくしま行動計画）

長期ビジョン (2060年頃)	未知なる課題を超越 「しなやかとくしま」	未知なる社会へ挑戦 「かがやくとくしま」	未知なる魅力を創造 「ときめくとくしま」
中期ビジョン (2030年頃)	「安全実感！ 強靱とくしま」の実現	「多様性実感！ 共生とくしま」の実現	「魅力実感！ 輝きとくしま」の実現

長期ビジョンを実現する3つの方向性

概ね20～30年間の中長期的な視点

徳島県新広域道路交通ビジョン

国が提案する道路政策の方向性 「2040年、道路の景色が変わる」より	国土の災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全に安心して暮らせる社会	世界と人・モノ・サービスが行き交うことで活力を生み出す社会	日本全国どこにいても、誰もが自由に移動、交流、社会参加できる社会
方向性を具現化する3つの基本方針 広域的な道路交通の基本方針	①広域道路ネットワーク (県土強靱化の加速)	人と暮らしを守る道路を構築 ・四国8の字ネットワーク整備 ・徳島自動車道の4車線化 ・多重性、代替性の確保	新交通・物流ネットワークを構築 ・DMVや小型モビリティの導入 ・分散型国土を実現する 南海経済軸へのモーダルシフト
	②交通・防災拠点 (環境と経済の好循環)	防災拠点施設を強靱化 ・道の駅の防災機能強化 ・グリーン社会を実現する 次世代エコカー普及の環境整備	モーダル・ミックスを推進 ・交通結節点の環境整備 ・海上輸送拠点の利用促進 ・UDによるまちづくり
	③ICT交通マネジメント (デジタル社会の実装)	道路ネットワークを長寿命化 ・ETC2.0による道路情報分析 ・IoT, AI技術等を活用した 点検のデジタル化	高度な交通マネジメントを導入 ・自動運転サービスの実装 ・デマンドシステムの構築 ・MaaSを核としたDXの推進
		道路利用者の利便性・満足度向上 ・観光案内アプリの充実 ・多言語の道、まち案内 ・道路施設のキャッシュレス決済	



道の駅

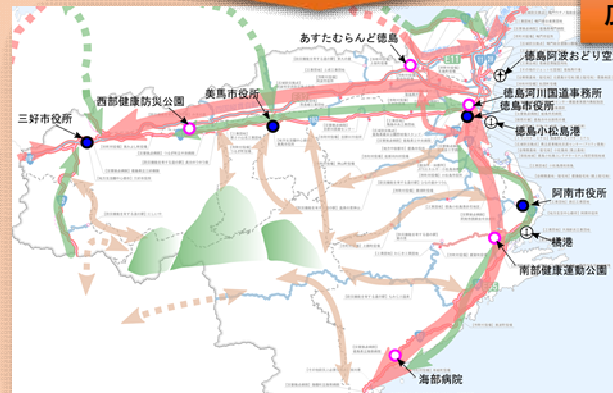
交通・防災拠点

ICT交通
マネジメント

自動運転



徳島県新広域道路 交通計画の策定



広域道路ネットワーク

<今後のスケジュール>

- 令和3年3月 パブリックコメントの実施
- 6月上旬 県土整備委員会へのビジョン（案）及び計画（案）報告
- 6月下旬 ビジョン・計画の策定・公表